

子どもの幸せと平和を描いた絵本
画家「いわさきちひろ」。その人生を、
黒柳徹子や高畑勲ら近親者の証言で
綴ったドキュメンタリー映画と、
同作品監督・海南友子さんの講演で、
今の時代を考えてみます。

いわさきちひろ ~27歳の旅立ち~

上映会と 監督講演会

《講演者》

かな
海南 友子さん
(ドキュメンタリー映画監督)



ガーベラを持つ少女 1970年頃
© CHIHIRO ART MUSEUM

日時

2016年
5月3日(火・祝) 13時30分~ (開場:13時)

会場

鎌倉生涯学習センター ホール

入場料

大人 500円、子ども(小中学生)100円

託見あり (2歳以上) 鎌倉市文化人権推進課へ
(4月22日締切。先着5名)

チケット

4月1日(金)発売

● 島森書店 ● たらば書房 ● 松林堂書店 ● 文化人権推進課・支所

かな 海南友子さんプロフィール

ドキュメンタリー映画監督。NHK報道ディレクターを経て独立。「にがい涙の大地から」（2004年）で黒田清・日本ジャーナリスト会議新人賞、「川べりのふたり」（2007年、脚本）でサンダンスNHK国際映像作家賞、「ビューティフルアイランズ～気候変動 沈む島の記憶～」(2009年)で釜山国際映画祭アジア映画基金AND賞を受賞。

2011年、東日本大震災後の福島第一原発4キロ地点まで赴き撮影。その直後に妊娠し、男児を出産。自身の出産と放射能をテーマにした「A Lullaby Under the Nuclear Sky」を釜山国際映画祭でワールドプレミア上映。邦題を「抱く[HUG]」（ハグ）とし、2016年に関西ほかロードショー公開。

最新作、山田洋次監督と是枝裕和監督の姿を通して日本映画界の力を描く「Two Directors: A Flame in Silence」（2015年）が、釜山国際映画祭20周年記念作品として同映画祭にて上映された。

鎌倉平和推進実行委員会について

昭和33年8月、鎌倉市は、平和都市宣言をおこないました。

この宣言は、市民有志の皆さんの請願を、市議会が全会一致で採択し、市が宣言したものです。平成7年、市民の実行委員会により戦後50周年記念事業が行われました。

その翌年から公募による市民で構成された「鎌倉平和推進実行委員会」が発足。平和・環境・人権などをテーマとした平和推進事業を市と協働で企画・運営しています。これまでに、講演会やコンサート、映画上映会、平和バスツアーなどを行ってきました。また、平成12年度より、申し出のあった市内の小・中学校へ「こどもたちと一緒に平和について考える授業」を出前するお手伝いもしています。

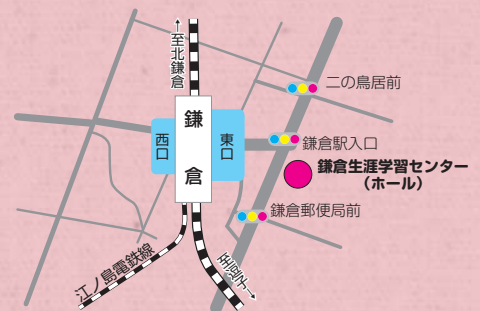
これからも、一人でも多くの市民の皆さんに参加していただける企画を心がけていきます。

平和都市宣言

われわれは、日本国憲法を貫く平和精神に基いて、核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、全世界の人々と相協力してその実現を期する。多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和33年（1958年）8月10日

会場案内



JR鎌倉駅東口徒歩3分

鎌倉市小町1-10-5